

R6さいと学「キャリアみらいゼミ」を開催



妻高校によるハイスクールクエスト



妻中生による見事な発表



地元事業所によるワーキングクエスト

本市のさいと学では、中学一年の下半期において将来の自己実現について考える学習を位置付けています。その学びの一環として、市内の全中一年生が一堂に会するイベント「キャリアみらいゼミ」を1月31日に市民会館（午前中・妻中体育館（午後））を会場に開催しました。

第一部は高校で学ぶ意義や進路選択についての理解を深めるハイスクールクエスト。妻高の三浦校長先生や本校OBの三年生たちが合格や就職に至るまでの道のりを熱く語ってくれました。

第二部は西都の歴史や文化を学ぶマイタウンクエスト。妻中の一年生代表が記紀の道や日本遺産、西都原古墳などについて一学期に探究した結果を見事なプレゼンで発表してくれ、高い評価をいただきました。

最後に、西都で暮らし・働く魅力を感じるワーククエスト。市内の21事業所の方々にお越しいただき、各ブースで魅力を語っていただきました。生徒達は自分の選んだ3つのブースで話を聞き学びを深めました。

こうした学習を通して、将来の生き方や自己実現の在り方を中一のうちから考えることで、今後の学校生活に生かして欲しいと思います。

令和6年度「立志式」を実施！（2年生）



本校では、成長の過程における「節目」をつくることとが、より充実した生き方につながると考え、中学二年生を対象に立志式を行っています。これまでの自分を振り返り、見つめ直し、これからの自分の生き方を考え、更にはそれをアウトプットすることで、三年生進級に向けての気持ちを新たにしていけます。それぞれが自分の気持ちを言葉にして表しました。また、これまでの学びや発見した内容についてもプレゼン発表が行われました。

三真の轍^{わたち}

新プロジェクトX・明石海峡大橋編

先日、明石市と淡路島の間に架かる明石海峡大橋を渡る機会がありました。ちょうど昨年の「新プロジェクトX・挑戦者たち」で明石海峡大橋建設の建設秘話を観たばかりだったので、感動もひとしおでした▼1998年に完成したこの橋は、長さが3911mもある世界最大級の吊り橋です。この巨大な橋を支えるケーブルは合計7万4千本のワイヤーで造られており重さは9t、直径は1mもあります(写真左)。激流の海峡、しかも船舶がひっきりなしに通るため、このワイヤーを橋桁間に渡すためにはヘリコプターを使ったのだそうです。不可能と言われた事業を成し遂げてこの橋が完成するまで、淡路島や四国の方々は本州に行くのに船を使うしかなく、その豊かな産物を阪神地方に送るには不便でした。長年に渡って架橋は人々の夢でしたが、その夢の実現をあきらめなかったのが、土木技術者から神戸市長に転じた故・原口忠次郎氏でした。白昼夢と笑われながらも夢を追い続け、技術者達の努力が実を結んだ架橋事業は、阪神淡路大震災をも乗り越えて実現に至ったのだそうです▼橋を渡り終え、対岸のパーキングで観覧車に乗って眺めみると、その迫力と美しさにしばし見とれてしまいます。明石側の海岸には原口市長の言葉「人生すべからく夢なくしては叶いません」がモニュメントに刻まれています。夢を持ちその実現に努力し続けることの大切さを実感する体験でした。(校長 伊東泰彦)



ロボコンクラブ全国準優勝！



本校のロボコンチーム「粋」が、2月1日に東京都で開催された全国大会で準優勝という快挙を成し遂げました。ロボット製作のアイデアはもちろん日頃の練習の成果を発揮しての成果。見事です。

淡路島側から見る大橋



妻中美術展が見事でした！



本校では美術部及び美術の授業作品等の展示会を開催しています。今年もレベルの高い見事な作品がそろっていても見応えがありました。

お礼とお願い(最後)(卒業アルバムのご貸与)

「閉校記念誌作成のための卒業アルバムご貸与」については、多数の方にご協力いただいております。誠にありがとうございます。次の年度については、まだアルバムがありません。呼びかけは今回を最後にし、集まったアルバムにて閉校記念誌作成の作業を始めたいと思います。もし、貸してくださる方をご存じでしたらご連絡いただけるとありがたいです。(妻中 ☎ 0983-43-3219)

第1～7回(昭22～28年)・現86～92歳の方	第9・10回(昭30・31年)、現83・84歳の方
第13回(昭34年)、現80歳の方	第15回(昭36年)、現78歳の方
第22回(昭43年)・現71歳の方	第31回(昭52年)・現62歳の方